

令和元年度 今治市立図書館 指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市立中央図書館、今治市立波方図書館、今治市立大西図書館、今治市立大三島図書館
所在地	今治市常盤町5丁目203番地2、今治市波方町樋口甲72番地1、今治市大西町宮脇甲506番地の1、今治市大三島町宮浦5713番地
指定管理者	<p>名称 TRC今治図書館サポート</p> <p>代表者 株式会社図書館流通センター 代表取締役 細川 博史 四国通建株式会社 代表取締役 阿部 健</p> <p>住所 東京都文京区大塚三丁目1番1号 愛媛県今治市南大門町一丁目1番地の15</p>
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。
担当部課(問合せ先)	<p>今治市教育委員会事務局 社会教育課 図書情報サービス係</p> <p>TEL:0898-36-1602</p> <p>E-mail:shakyou@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価	市による評価
総則	<p>総則</p> <p>B</p> <p>施設の目的や基本方針からはずれることなく運営をしました。開館日、開館時間も適切に実行しました。</p>	<p>B</p> <p>施設の目的や基本方針などを理解し、関係条例、規則に基づき、適切な業務運営が行われている。また、職員が共通の問題認識をもって図書館運営を実施できるように職員研修等が実施されている。長期休館等の際の返却日や受取待期間の調整など、利用者の公平性に配慮した管理・運営がされている。事業計画書に記載された事業だけでなく、市からの要請や関係団体の要望等を受け、また、市の課題に関するテーマについて、自主的に取り扱った展示を行うなど、柔軟に事業が実施された。新型コロナウイルス感染症拡大防止に関係する対応についても、適切な対応がとられた。中央図書館3階テラスにグリーンカーテンを設置し、省エネ対策や環境に配慮した対策が取られた。単独館は敷地内禁煙、複合館は施設内禁煙の実施が継続された。</p>
	<p>利用状況</p> <p>A</p> <p>台風10号による休館や、中央図書館での、ガラスの破壊による裏入口の閉鎖、新型コロナウイルスの影響で、入館者数は若干減りました。</p>	<p>B</p> <p>アンケート調査により、図書館の運営課題について利用者の傾向を把握しようとしている。利用状況について、人口減少やインターネットの普及など経営努力では抗えない要因も大きく、また電子図書館など結果的に貸出統計数の減少を招くことが予想される取り組みにも挑戦している。年度途中には、長期に渡り中央図書館の入口のひとつを閉鎖。年度末には新型コロナウイルス感染症対策の影響もあった。現段階で利用統計数の増減について事業の可否と結びつけて判断することはできない。指標の増減について長期的な観点から判断するため、今後の動向に注視したい。</p>
	<p>事業収支</p> <p>A</p> <p>入出金に関するトラブルはありませんでした。予算については節約に努めましたが、国府叢書の翻刻作業が延長になり、人件費が予定より多くなりかかりました。資料費に関しては、予算以上の購入をしました。</p>	<p>B</p> <p>協議により、会計の独立について本社経理システムの利用を認めているため、対象の項目は評価外とする。伝票や経理の状況について、市からの確認に適切に対応できていた。報告書外の経理書類について、提供依頼した際にも速やかに対応されている。市の指定額を満たして資料の購入を実施した。</p>
	<p>管理・運営体制</p> <p>A</p> <p>配員に無理のない職場環境を整えています。そのため、職員の有給休暇取得率も高く、勤務日数、勤務時間も適正に管理されています。出張研修も積極的に行い、各個人のスキルアップにつながっています。</p>	<p>B</p> <p>障害者雇用に関しては基準を上回る雇用がなされている。本来、図書館の事業の性格上、子育てファミリー応援事業への参加は困難と考えていたが、指定管理者の努力により実施を継続している。職員の対応については全館満足が74.9%、不満は全体で0.7%と満足度は高い水準であった。社内で職員のスキルアップのための研修体制を構築し、実施している。一般業務・図書館の専門業務とも充実しており、新規の研修先も追加されている。</p>

総則	事故及び災害等発生時の対応	B	施設の経年劣化などの不具合などがありました が、その都度対応し安心・安全な環境を保つ ことができました。	B	指定管理者が請け負っている図書館全般に 対する標準的な危機管理マニュアルが細か いところまで整備されている上、今治市立 図書館個別に対応したマニュアルの作成も されている。
	個人情報保護	A	個人情報の漏えいは1件もありませんでした。 個人情報保護監査を各館ごとに適正に行いま した。また、プライバシーマークのテストを各 人適正に行いました。	A	図書館で取り扱っている個人情報は大量で かつ多種の内容にわたっている。コンソーシア ムの代表団体であるTRCはプライバシーマ ークを取得し、個人情報保護チェックリスト 作成マニュアルを整備、監査を各館ごとに 行い、職員に対する内部研修も毎年実施さ れており適正な個人情報の管理体制が実行 されている。
課題		指定管理者自己評価		市による評価	
基本的業務	自主事業	A	「古文書『国府叢書』の翻刻・デジタル化・公 開・刊行事業」も、一部5月に公開し、その 後も公開に向け継続して行いました。また、 「タオルびと制作プロジェクト」も、タオル 産業の貴重な記録遺産として継続して行 いました。今治市立図書館の名物企画にな りつつある、中央図書館の著名作家による 読書講演会で、今年度は、図書館界では 憧れの作家有川浩さんをお呼びしました。 図書館で、音楽コンサートという新たな企 画で、中央図書館にてジャズのコンサートを 開催し、「ジャズの街今治」にふさわしく多 くの方が鑑賞されました。移動図書館を 開始して50周年を記念し「新来島どっく 感謝祭」に乗り入れ多くの方に利用して いただきました。また、大西図書館リニ ューアル10周年記念行事として、南極観測 隊に参加した人を講師に迎え「南極クラス」 を開催しました。	A	報告書によると全館で年間のべ410余りの 各種自主事業を実施しており、内容として は「読み聞かせ会」、「展示」、「講演会」 、「体験会」、など多岐にわたっており利用 者にとっては定番事業として定着している ものも多いと感じられる。『国府叢書』の 翻刻・電子化事業を継続するなど、図書館 業務を専門とする自社の強みを活かした 事業を展開した。閉館後の図書館で音楽 コンサートを開催したり、地域の催しに 移動図書館車を派遣するなど、指定管理 制度ならではの独創性、斬新な企画に取 組み、地域に還元している。
	地域団体との連携	A	「タオルびと制作プロジェクト」は城西大 学様および地元タオル企業様と連携して 進めています。また、「国府叢書の翻刻・デ ジタル化事業」では愛媛大学様、今治史 談会様協力のもとに実施しました。国際 ソロプチミスト今治様とは坊ちゃん初版 本等の展示において協力させていただき 継続展示をしています。また、中央館2 階の参考コーナーにおける平和展示は「 今治市の戦災を記録する会」様と協力の もと継続しています。岡山理科大学様と も、利用者カードの登録の協力、企画展 示やセミナーを開催し積極的に連携を行 いました。その他、継続事業におきま しても諸団体様とは良好な関係のもと 実施しています。	A	「タオルびと制作プロジェクト」、「古 文書『国府叢書』の翻刻・デジタル化・公 開・刊行事業」など地域団体との連携が 評価できる。
	行政財産の目的外使用許可手続業務	A	中央館と波方館における自動販売機の設 置、および中央館における「ぶっくんのお みせ」の手続きを適正に行いました。	A	適正に行政財産の目的外使用の手続きの うえ、中央館と波方館における自動販売 機の設置、および中央館における「ぶっ くんのおみせ」など利用者へのサービスの 向上に取り組んでいることを評価する。 得られた収益についても適切に図書館業 務に活用し、市民に還元されている。
	事故・苦情	A	利用者様のご意見に対しては「ご意見箱」 を設置し、すべてのご意見にたいする回 答を常時閲覧できるようにしています。	B	意見箱に寄せられた苦情・要望等につ き、柔軟な対応を行っており、また、市 への報告等により情報共有を行い、問 題の発生を最小限にとどめるよう努め ていることを評価する。
課題		指定管理者自己評価		市による評価	
管理業務	一般管理業務	A	業務基準表に基づき適正に管理しまし た。また特段の苦情等もありませんでした。	B	中央図書館では、剪定・刈込を年4回 (基準表は年1回)実施し、美観または 衛生上良好な状態を保った。四国通建 の巡回など仕様以上の点検を実施して いる。施設の老朽化により、対応事項が 多くなっているが、市からの要請にも誠 実に対応している。公衆電話廃止に伴 う特殊簡易公衆電話の設置も継続され ている。帳簿が適切に管理されているこ とにより、市からの問い合わせにも的確 な回答がなされた。
	修繕管理業務	A	専門技術者のもとに適正に管理を行いま した。経年劣化による施設に不具合があ りましたが、安全対策を実施して運営を 行いました。	B	応急的な修繕等や日常点検等により、大 きな事故につながらないよう努めている。 今後、施設の老朽化が進む中、市と協 議しながら修繕箇所の優先順位を決め る必要がある。ソファの張替については 計画的に修繕を進めている。
	備品管理業務	A	今期も、故障などで、必要とされるもの を購入しました。備品管理も適切に行いま した。	B	応急的な修繕等や日常点検等により、大 きな事故につながらないよう努めている。 今後、施設の老朽化が進む中、市と協 議しながら修繕箇所の優先順位を決め る必要がある。

課題		指定管理者自己評価		市による評価	
利用業務	利用業務	A	運営上のトラブルも適切に、対応し、管理することができました。	B	多彩なイベント・講座を開催するとともに、FMラヂオバリバリなど、積極的な広報活動により図書館への集客と活動の周知が図られた。地域の課題をテーマにした展示など、司書の企画力によるPR効果も十分に発揮された。らいぐらりいや利用案内に加え、図書館マナーブックの作成・配布を継続した。電子図書館に立川文庫などの地域資料を電子化・掲載し、貴重な資料を展示するだけでなく、広く利用できるようにしている。ブックシャワーの無料化継続や、BMのイベント参加、島しょ部での電子図書館説明会の開催など、利用促進が図られた。
	利用者アンケート	A	本年から、来館者アンケートに加え、非来館者アンケートも行い、図書館に対する基本的な認知度を知る事ができました。また昨年を上回る1600人以上の方にご協力いただきました。	B	継続調査項目に加え、ネットからの再貸出申請について調査し報告書は図書館サイトで公表している。ブックスタート会場でのアンケート配布など、非来館者へのアンケートを実施している。
課題		指定管理者自己評価		市による評価	
運営業務	電算システム運営業務	A	システムに異常が発生した場合は専門業者と早急に連絡をとり、利用者へのご不便をおかけすることはありませんでした。	B	システムに関する業務委託は指定管理者以外であるため、システム上のトラブルがあった場合や改修が必要な場合には速やかに対応できるよう、定期的に三者協議を行っている。プライバシーマーク取得企業であることを活かし、適切な対応がされている。
	図書館資料運営業務	A	指定の資料購入費を、上回る購入しました。また、選書、廃棄等も適正に行い、リサイクル・ブック・フェアは中央図書館を除く3館で混乱なく行うことができました。(中央図書館は新型コロナウイルスの影響で行えず、来期に実施します。)	B	長期督促者などに直接訪問し返却を促すなど、適切に督促業務が実施されている。貴重資料については、郷土資料の電子化や収集した郷土資料の細やかな書誌作成など、基本と発展両面に積極的な運営がなされている。引き続き、国分叢書の電子化により貴重な郷土資料の収集保存を推進した。資料収集に関しては概ね計画的に執行されている。除籍した資料について、リサイクル頒布会を開催して希望者に配布することで有効活用をしている。
	その他の運営業務	A	「今治市の戦災を記録する会」様と平和展示コーナーを継続しています。また、新大学 岡山理科大様との、連携を積極的に行いました。	B	有名作家を招聘して高校生とのコラボイベントを開催するなど視聴覚室の利用促進が図られた。「教科書展示会」など展示スペースで外部団体と連携して啓発・展示を実施している。図書館協議会が適正に開催された。
課題		指定管理者自己評価		市による評価	
奉仕業務	一般奉仕業務	A	当年度のアンケート調査結果においても、7割以上の方がスタッフの対応にご満足いただいています。また、大きな不備等もなく、概ね順調に管理することができました。	B	一般的な奉仕業務の実施状況については概ね良好であると評価する。オンラインデータベースの利用が継続に加え、新たに国立国会図書館の資料送信サービスを導入するなど、利用者への情報支援が充実している。レファレンスについては、事例の蓄積や的確なインタビューなど、より充実したサービスを期待する。移動図書館50周年記念として、イベントに参加するなど、柔軟で工夫をこらした運行がされている。
指定管理者の経営状態				提出された決算関係書類や過去5年間の「貸借対照表」、「損益計算書」をもとに「経営分析指標」を算出したところ、収益性、安全性、効率性、成長性の各項目とも特に問題となる項目もなく、概ね良好であると判断する。	

## 総合コメント(市)

指定管理者は施設の目的や基本方針などを理解し、関係条例、規則、業務仕様書に基づき、事業計画を立て、適切な業務管理・運営を実施していると評価する。

第3期2年目となる事業実施であり、概ね安定した運営を行っている。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、いくつかの事業については実施することができなかったが、タオルびと制作プロジェクトや、今治の郷土資料『国府叢書』の翻刻・電子化事業の継続、著名作家と高校生のコラボレーション企画など、自主事業に積極的に取り組んでいることを評価する。

中央図書館に加え、大三島図書館でのブックシャワーの無料提供やソファの張替え、指定額以上の資料購入など、自主事業等による収入を適切にサービスへと還元していることを評価する。

積極的なパブリシティや司書の専門性を活かした企画力により、中央図書館だけでなく地区館での企画においても、メディアへの露出が高い水準で継続しており、市民へのPRに加え、市外へのPRにも効果があったことを評価する。